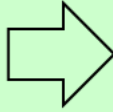


## 高収益作物の導入と小区画水田の地域農業振興

～ 農事組合法人 ガンバいさご ～

### 経営体の概要

法人化前：平成19年度  
 基幹作物：水稲、大豆  
 経営面積：40.5ha（営農組合）



現在：令和2年度  
 基幹作物：水稲35.3ha、ハトムギ8.8ha、  
 ピーマン0.3ha、牧草他6.8ha  
 経営面積：借地51.2ha、作業受託2.2ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

国営事業により用水が安定的に供給されたことにより水管理作業の軽減が図られた。国営事業の実施をきっかけに、農業従事者の高齢化や品目横断的経営安定対策に取り組むため、農地の有効利用、生産性向上、農業機械の過剰投資の抑制を目的として、平成19年に地域の3分の2の農家が参画した任意組織「ガンバいさご営農組合」を設立した。その後、組織の強化等を図るため平成30年に法人化した。法人では、安定した用水と狭小農地の集積等により、水稲を中心にハトムギや収益性の高いピーマンを導入し効率的な営農に取り組んでいる。

### 営農改善のポイント

#### ① 経営規模の拡大

国営事業の実施により用水安定供給と水管理作業の軽減が図られた水稲栽培が可能になった。営農組合の設立及び法人化により、水稲面積の拡大に加えハトムギ、ピーマンを栽培している。水田ほ場は10a程度の区画であるが、ほ場を集積し効率的な営農を実践している。また、高齢化等により、法人へ加入する農家が増加し、法人の経営面積が拡大している。

#### ② 栽培技術の確立・向上

法人では、30aのピーマンのビニール被覆によるトンネル栽培を導入している。栽培には、自動かん水装置を設置し畝ごとに時間給水を行っているほか、このかん水装置を利用して液肥の施肥を行い、省力化を図っている。単収は市内平均を大きく上回る約8,400kg/10aとなっている。

#### ③ 担い手の育成・確保

法人では、市内の法人化を目指す農家等から講演等を依頼され、法人の取組について説明している。また、ピーマンの栽培では、新規就農者の研修の場としての受入れ、非農家の女性等の就労の場として雇用している。



水稲、ハトムギの栽培



ピーマンの栽培

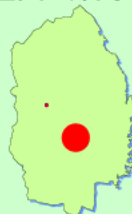


ピーマンの自動かん水装置

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
 関係市：北上市、花巻市  
 受益面積：2,504ha  
 事業期間：平成20年度～平成27年度  
 事業目的：用水改良  
 主要工事：取水施設1箇所、用水路5路線、用水管理施設

位置図（岩手県）



猿ヶ石川

### <問い合わせ先>

東北農政局  
 農村振興部農地整備課  
 電話：022-263-1111  
 （内線4460）

（令和2年度調査時点）